

アクセスマップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の4園で開催している地域の子育て支援事業です。

たまほいくえん

〒196-0033
東町 5-1-40
☎ 042-544-1151



なかがみほいくえん

〒196-0025
朝日町 5-4-17
☎ 042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0005
代官山 1-2-2
☎ 042-545-0156



ミナバもくせいのもり

〒196-0035
もくせいの杜 1-2-25
☎ 042-519-4378



「くじらしま」ではさまざまな支援活動をしています。地域で子育てを行っている方は、どなたでもご参加いただけます。詳細は、右のQRコードより、ご確認ください。



【発行】社会福祉法人多摩育児会 〒196-0033 東京都昭島市東町 5-1-39 ☎ 042-519-5597
<https://www.tns.or.jp>

子育て支援
コンテンツ

イベントパーク（行事体験）

園の行事に参加、体験いただけます。

デイリーパーク（体験保育）

親子で日常の保育生活を体験（お子さまの給食有。無料）

子育てワークショップ

ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル。

たまごパーク

妊婦さんや0歳児が対象の遊び場。身体測定も実施。

ひよこパーク

在園児以外のお子さまが対象の遊び場です。

育児相談（随時受付）

各園にて受付けています。時間はご相談ください。

園内見学（随時受付）

各園にて受付けています。時間はご相談ください。

一時預かり保育（有料）

地域のお子さま対象です。詳細は各園へお問合せください。

多摩育児会の子育て支援事業「くじらしま」は昭島の子育てを応援しています！

こそだておうえんマガジン

くじらしまだより



もくじ

おうちでできるシリーズ
インタビュー | 伊東静一先生
中神保育園の自然活動
多摩保育園のこそだてコンテンツ紹介
ほいくの4コマ「メダカ？先生？」

……02
……04
……05
……06
……07

2025 SPRING

4-6月



モンテッソーリ教育

1 知性と運動と意思の統合 花を活ける

モンテッソーリ教育で「花を活ける」活動は1歳半頃から行えます。子どもが興味をしめすポイントは様々ですが、花への関心（名前や造形への興味など）や普段使わないものの動きの観察など、新しい体験や知識を得ることで成長を手助けできます。また、この活動は漏斗（じょうご）を使い、子どもが「じょうご」という単語を覚えるきっかけも作れます。ぜひ家族一緒に楽しみながらチャレンジしてみてください。

【やり方・手順】

- ① 大きめの容器に花を入れておく
- ② ピッチャーに水を注ぐ
- ③ 小さな花瓶の口に漏斗を置き、ピッチャーの水を注ぐ
- ④ 漏斗を外し花の中から好きな花を選び、小さな花瓶に花を活ける
- ⑤ ドイリー（花瓶敷き）と花を活けた花瓶を持ち、部屋の好きな場所に飾る
- ⑥ 周りに水がこぼれたらスポンジで拭きとる
- ⑦ 道具を片付ける



【ねらい】

- ① 花を活ける活け方を教える
- ② 生き物に対する尊重と世話の仕方を知る
- ③ 美的感覚を養う
- ④ 自立心を養う
- ⑤ 知性と運動と意志の統合



【準備するもの】

- 小さな花瓶
- 花
- 漏斗
- ピッチャー
- ドイリー（花瓶敷き）
- 花を入れておく大きめの容器
- ふちのあるトレイ
- スポンジ
- バケツ



おうちでできるシリーズ 春をたのしむ 1・2・3



2

身近にある植物で 「サシェ」を作ろう

身近な植物や花を乾燥させてお子様とオシャレに飾ってみませんか。簡単なのでぜひお試しください。



【準備するもの】

- はさみ
- 麻紐
- バケツ
- 不織布袋（お茶のバックでもよい）



つくってみよう



サシェは乾燥させた花やハーブ、香料などを袋に詰めた芳香剤で香り袋や匂い袋とも呼ばれます。

【やり方・手順】

- ① 植物を採取する
- ② 洗う
- ③ 乾燥させる
- ④ 袋に入れて口を止める



3 野菜が苦手な子にも大人気 「納豆和え」

野菜が苦手な子にも大人気メニューです。ご飯にかけて食べてもおいしいです！



野菜をおいしく！



【準備するもの】

- 納豆…1パック
- 小松菜…2株
- もやし…1/2袋
- にんじん…1/2本
- しょうゆ…小さじ1
- かつお節…少々
- だし汁…適量（一人当たり25kcal）

【作り方】

- ① にんじんはせん切りにし、もやしと一緒に茹で、水気をよく切っておく。
- ② 小松菜は沸騰したお湯に塩を入れ茹でる。茹であがったら冷水に取り、水気を切る。
- ③ 納豆とかつお節をだし汁、しょうゆで和え、①と食べやすい大きさに切った小松菜を合わせる。





SPRING INTERVIEW

中神保育園・心を育む自然活動●伊東静一先生 「体験と知識が結びついて、知恵になる」

多摩育児会では、さまざまな外部講師をお迎えして子どもたちの体験活動を行っています。今回は中神保育園で自然活動の講師をしていただいている伊東静一先生にお話をお聞きしました。

Q: はじめに伊東先生について教えてください。

伊東先生: 私は成人式あとに高校時代の恩師と出会い「野鳥観察会」を実施したことがきっかけで「福生自然観察グループ」を立ち上げ自然観察や野鳥の調査を始めました。卒業後は公民館職員となり、地域の社会教育や大学大学院で環境教育についての研究を始めました。その後、福生市公民館の館長を経て、退職後は東京学芸大学の生涯学習の授業や明治大学では客員研究員として研究を続けながら、地域の子どもの環境教育事業の講師もしています。

Q: 中神保育園での活動を教えてください。

伊東先生: 中神保育園では、「園庭を極めよう!」というテーマで「自然と触れ合う活動を通して、子どもたちの探求心を育む」という取り組みをしています。私は、その取り組みの中で、職員のみなさんが一緒に身近な自然環境に触れる、知る、学ぶ活動に参加して、経験を通して保育につながるスキルアップの講師をしています。



Q: 先生が大切にしていることはなんですか?

伊東先生: まず子どもたちに私のことを「楽しい人が来た!」というイメージを持ってもらうこと、子どもも大人も楽しい気持ちで一緒に体験を持つことを大切にしています。保育園や神社、多摩川、原っぱなどの環境もまるごと体験

すること、誰と一緒にだったのか、も大事です。子どもたちは、体験の中でいったりきたりしながら育っていきます。特に乳幼児の時期は感性や意識の発達が一番重要な時期。子どもたちにはできるだけ多くの体験をしてもらいたいです。その時は、分からなくても体験を重ねる中に、後でこのことだったんだと自分で気がつくことで、体験と知識が結びついて知恵になります。

Q: 子どもに体験を提供する際に、私たち大人はどのように接したらよいでしょうか。

伊東先生: たとえば、中神保育園での多摩川の野鳥の観察では、「鳥はどんな特徴があるかな」と声かけをして、まずは子どもたちに観察してもらいました。それから「今度は図鑑で見ようか」と、子どもが発見した特徴を示しながら図鑑で見ます。このように、子どもたちが自ら気づくような言葉掛けや子どもたちの記憶に残るような体験のしぐみを、先生や大人が設定することも大切です。

ながみほいくえん 自然活動プログラムの記録

【活動の目的】

- ・学びにつながる関心を育てる
- ・自然活動を通して探究心を広げる
- ・活動を通して自分で調べ、考える力を身につける



【活動の一例】 多摩川での体験

- ・担任から多摩川や野鳥のお話を聞いたり、関連する本を見たりして期待を膨らませ当日を迎えました。
- ・多摩川に着くと子どもたちはとても楽しそうに自然にあるものを観察したり触ったりして、気になることは伊東先生と担任に聞いていました。

熊野神社でどんぐり探し

- ・担任からどんぐりの種類・形・遊び方など事前に教えてもらいワクワクした気持ちでどんぐり探しに出かけました。
- ・拾ったどんぐりや葉っぱの形や種類など観察したり、どんぐりゴマなどを作って遊びました。



【学び】

体験や発見したことを話し合い、子どもたちだけでレポート作りをしました。そして自分の言葉で発表ができました。

子どもたちの発表内容

- 「望遠鏡を見たら、すぐ飛ぶ鳥がいた」
- 「多摩川でカルガモを見つけました」
- 「くちばしがオレンジのムクドリが可愛かった」
- 「ブラナリアがいて、何回切っても生きているのを知りました」
- 「いろいろなどんぐりを見つけました」
- 「ぶんぶんゴマを作ったのが楽しかった」
- 「熊野神社で大きな葉っぱを見つけました」
- 「どんぐりを拾うのが楽しかったです」

などなど

【成長】

- ・身近なものへの興味が広く持てるようになりました。
- ・自分で調べる姿勢が見られるようになりました。
- ・具体的に学んだことを言葉にして伝えることができるようになりました。

今までありがとう

中神保育園の「桜の木」

開園当初からシンボルツリーとして子どもたちに愛されてきた桜の木が安全上の都合でお別れすることになりました。

2025年3月7日に桜の木と過ごした日々を振り返りながら、年長組の子どもたちが「だいじな だいじな さくらのき」を上演し、“またね”と桜の木を大切に想う気持ちが伝えられたお別れ会でした。





昭島市内の妊婦さん、未就園児を子育て中のみなさんへ たまほいくえんの子育てコンテンツ

当法人では地域の子育て支援事業「くじらしま」を4園（多摩保育園、中神保育園、イコロ昭和の森、ミナバもくせいのもり）で実施しております。今回は多摩保育園で取り組んでいる子育て支援事業の中からたまごパークと育児相談（発達講座）をご紹介します。

姿勢

食べる時、人間は顎の筋力を使って口を動かすため、姿勢はとても大切な要素です。体幹の安定・足がふらつかないように工夫します。



大切なこと

お子さまが口を開けたら、「スプーンを真つつぐ入れられる・咀嚼・飲み込みを確認できる」位置に座ります。



スプーンに乗せる量

口に入れる量はスプーン半分弱にします。スプーンを下唇に乗せ、口を閉じるのを待ちます。口を閉じたらそっとスプーンを抜きます



育児相談 発達講座



お子さまの発達に合わせた講座を開催しています。育児相談もお受けしておりますので、お気軽にご参加ください。

●離乳食講座



離乳食の形態や移行、レシピや食べさせ方など悩みがちな離乳食について、子育て経験もある栄養士といっしょにみんなでのしく学びます。アットホームな雰囲気でお子様といっしょにご参加いただけます。

●感染症講座



季節ごとに流行りやすい胃腸炎や風邪など、様々な症状について家庭での対応方法（ホームケア）をお話します。ご質問やご相談もお受けしておりますので、お気軽にご参加ください。

赤ちゃんレストラン情報

- 日時：毎週火曜 10:00～11:00（園内見学、身体測定、離乳食のおはなし、質疑応答、離乳食タイム）
- 場所：多摩保育園 エントランス
- 対象：離乳食中期～完了期までのお子さまとママ・パパ
- 要予約：実施日（火曜日）の4日前（金曜日）までにお申し込みください。
- 申込・問合せ：多摩保育園 ☎ 042-544-1151（平日 9:00～17:00）tama@tns.or.jp
- 持ち物、参加費等、詳しくは左のQRよりご覧ください。



メダカ? せんせい?

園のできごとを多摩育児会の保育士が4コマまんがでお伝えします!

